



大幸薬品

2025年12月期 (FY2025) 第3四半期 連結決算報告

2025年11月

大幸薬品株式会社

証券コード：4574

1. 第3四半期 連結決算業績

2. 第3四半期 セグメント別事業概況

3. 通期業績予想の修正



1. 第3四半期 連結決算業績

連結経営成績

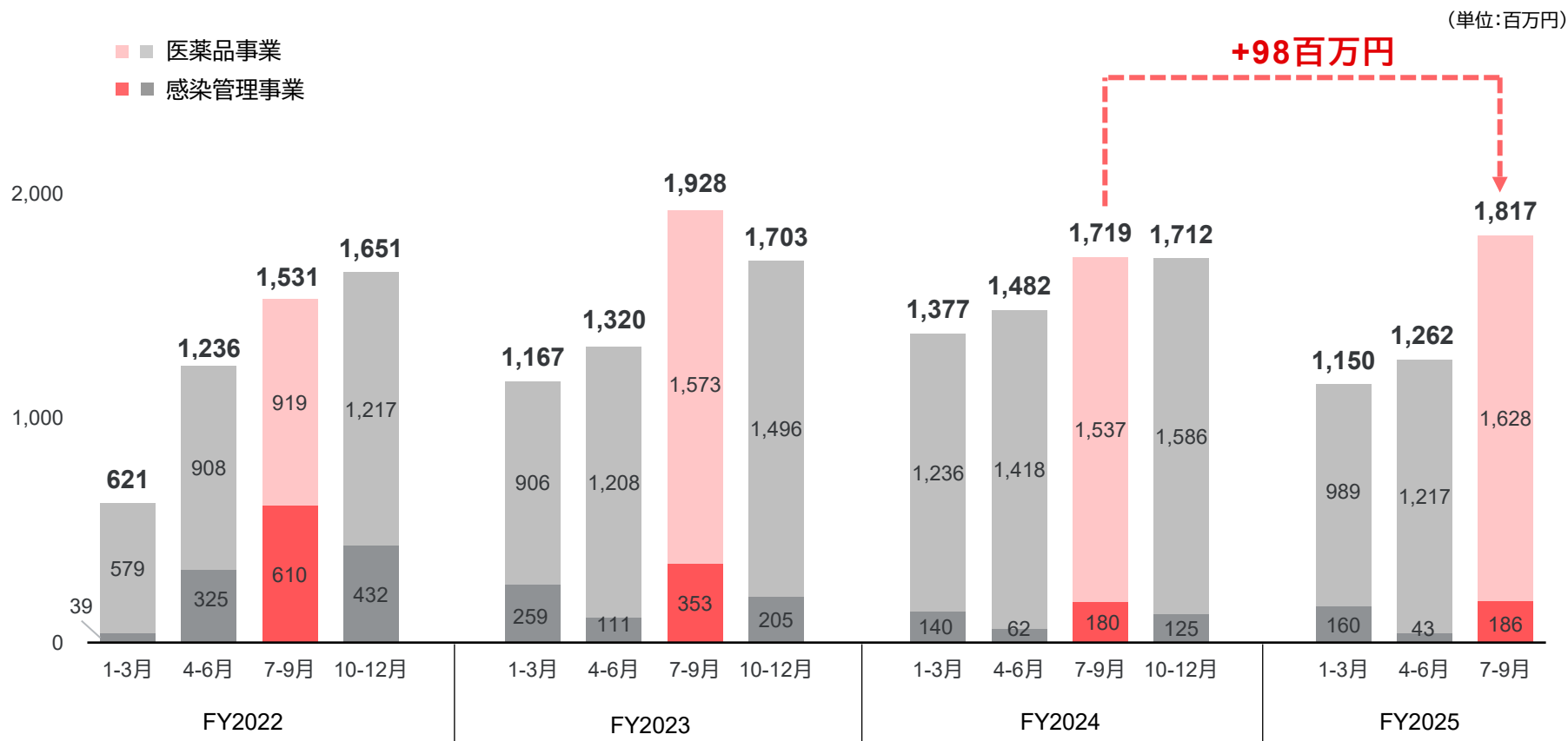
- 前年同期比では減収・減益となるものの、利益ベースでは計画を上回って推移
- 本日(2025年11月11日)、連結業績予想の修正(上方修正)を開示済

(単位:百万円)

	FY2024		FY2025		増減額	増減率
	第3四半期 累計実績	売上比	第3四半期 累計実績	売上比		
売上高	4,579	-	4,229	-	△350	△7.6%
売上総利益	2,715	59.3%	2,361	55.8%	△354	△13.0%
販売費及び一般管理費	1,988	43.4%	2,036	48.2%	+47	+2.4%
営業利益	726	15.9%	324	7.7%	△402	△55.3%
経常利益	705	15.4%	325	7.7%	△380	△53.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	714	15.6%	669	15.8%	△45	△6.3%

連結売上高推移(四半期)

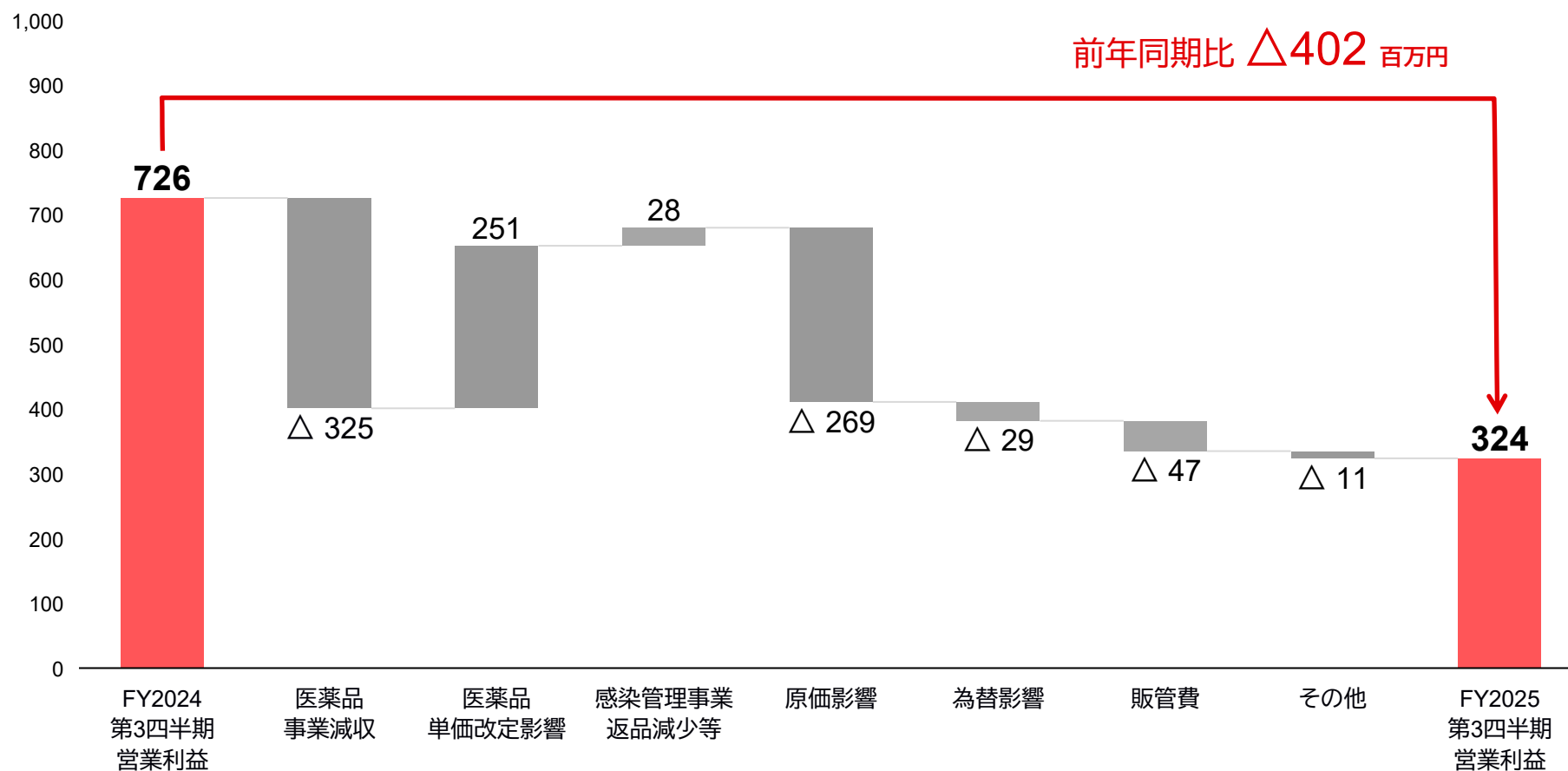
- 医薬品事業は、セイロガン糖衣Aの販売数量が大きく増加し、前年同期比で増収
- 感染管理事業は、秋冬の需要期に向けた配荷が進み堅調に推移



営業利益の変動要因

- 医薬品事業において、値上げに伴う単価改定影響があるものの、正露丸出荷数量減による減収が影響
- 原価影響では、原料・資材の値上げ影響に加え、正露丸の供給体制強化に向けた費用の増加があるものの、概ね計画の範囲内で推移

(単位:百万円)



販売費及び一般管理費

- 広告宣伝費は、1-3月期における感染管理事業のWEB広告強化やセイロガン糖衣A携帯用の上市に伴うプロモーション施策等により増加

(単位:百万円)

	FY2024		FY2025		増減額	増減率
	第3四半期 累計実績	構成比	第3四半期 累計実績	構成比		
販売費及び一般管理費合計	1,988	-	2,036	-	+47	+2.4%
販売費	477	24.0%	481	23.6%	+3	+0.7%
広告宣伝費	287	14.5%	321	15.8%	+34	+11.9%
販売促進費	86	4.3%	82	4.0%	△4	△4.9%
運送費	103	5.2%	77	3.8%	△26	△25.8%
人件費	881	44.3%	900	44.2%	+18	+2.1%
その他経費	629	31.6%	655	32.2%	+25	+4.1%
研究開発費	115	5.8%	145	7.1%	+30	+26.2%
支払手数料	224	11.3%	232	11.4%	+7	+3.6%

経常利益・四半期純利益

- 営業外費用では、円安により前年同期比で為替差損が減少
- 特別利益では、投資有価証券売却益に加え、為替換算調整勘定取崩益を計上

(単位:百万円)

	FY2024 第3四半期 累計実績	FY2025 第3四半期 累計実績	前年同期比	増減要因等
営業利益	726	324	△402	
営業外収益	36	29	△6	主に受取利息減少の影響
営業外費用	57	29	△28	主に当期為替差損減少の影響
経常利益	705	325	△380	
特別利益	200	502	+302	有価証券売却益347百万円 為替換算調整勘定取崩益 140百万円 前期:受取補償金200百万円
特別損失	232	6	△225	前期:医薬品事業の生産体制の再編 減損損失228百万円
税金等調整前四半期純利益	673	821	+147	
法人税、法人税等調整額	△41	151	+192	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	714	669	△45	

■ 長期借入金の返済や利益計上により、自己資本比率は、61.7%⇒69.3%へ向上

(単位:百万円)

		FY2024 期末	FY2025 第3四半期	前期比	増減要因等
流動資産	流動資産	8,761	8,190	△571	
	現金及び預金	4,532	3,788	△743	
	売上債権	2,428	2,020	△408	
棚卸資産	棚卸資産	1,676	1,968	+291	医薬品在庫 1,783百万円 感染管理在庫 171百万円
	固定資産	4,152	3,694	△457	投資有価証券の売却による減少
資産合計		12,914	11,884	△1,029	
流動負債	流動負債	2,855	2,321	△533	
	固定負債	2,094	1,326	△767	長期借入金の返済等
	純資産	7,964	8,236	+272	
負債純資産合計		12,914	11,884	△1,029	
自己資本比率		61.7%	69.3%		

2. 第3四半期 セグメント別事業概況

セグメント別事業概況

- 医薬品事業 : 海外向けの出荷が後ろ倒しになったことにより、前年同期比で減収
- 感染管理事業 : JSA規格適合製品の出荷開始で売上は堅調に推移
コスト管理によりセグメント損益を着実に改善

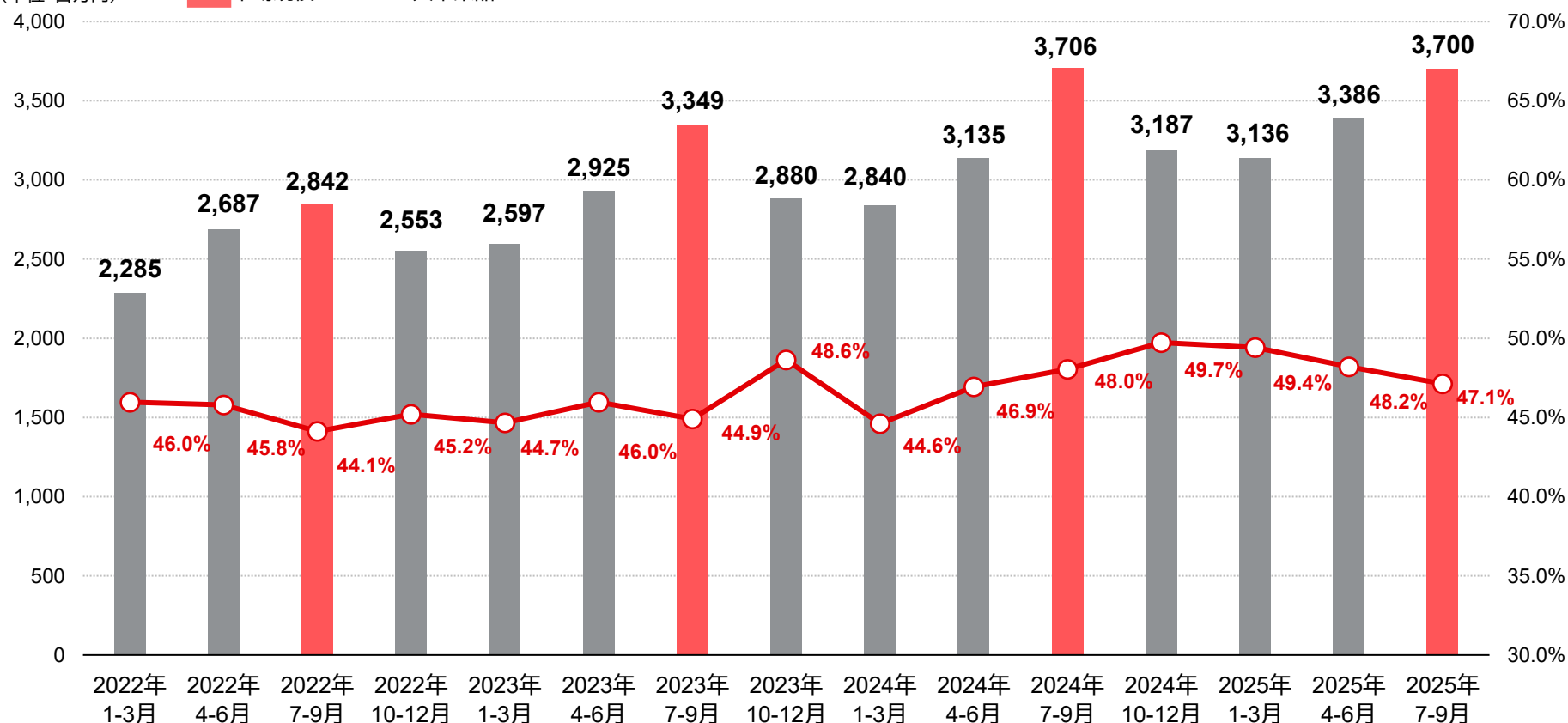
(単位:百万円)

		FY2024 第3四半期 累計実績	FY2025 第3四半期 累計実績	増減額	増減率
医薬品事業	売上高	4,192	3,835	△357	△8.5%
	セグメント損益	1,569	1,094	△474	△30.2%
	利益率	37.4%	28.5%	-	-
感染管理事業	売上高	383	390	+6	+1.7%
	セグメント損益	△232	△143	+89	-
	利益率	△60.6%	△36.7%	-	-
その他事業	売上高	4	4	+0	+8.8%
	セグメント損益	△7	△12	△5	-
	利益率	△169.5%	△273.8%	-	-

- 国内止瀉薬市場は値上げ影響の一巡もあり、7-9月期でほぼ横ばいも前年同期比(1月-9月)では105.6%と堅調。当社シェアは47.1%と引き続き高い水準を維持

国内止瀉薬市場

(単位:百万円) 市場規模 大幸薬品シェア



※出所:株式会社インテージSRI+、店頭小売価格ベース

- 需要は堅調に推移するも、正露丸は供給制限の影響により減少
- セイロガン糖衣Aは、供給課題が解消したことや、携帯用の上市により前年同期比で増加

製品カテゴリー別売上高

(単位:百万円)

	FY2024	FY2025	増減額	増減率
	第3四半期 累計実績	第3四半期 累計実績		
国内医薬品事業売上高	2,640	2,718	+77	+2.9%
正露丸	1,598	1,360	△237	△14.9%
セイロガン糖衣A	1,128	1,516	+387	+34.4%
正露丸クイックC	236	209	△27	△11.7%
その他 ※	78	86	+8	+10.3%
返品・値引・協賛等	△400	△453	△53	-

※ 整腸薬「ラッパ整腸薬BF」、止瀉薬「ピシヤット」

正露丸



セイロガン糖衣A



セイロガン糖衣A 携帯用



正露丸クイックC



ラッパ整腸薬BF



ピシヤット下痢止めOD錠



- 国内市場との製造スケジュール調整により、前年同期比では減収
- 出荷調整の影響はあるものの、概ね計画通りで進捗しており、通期では前年並みを見込む

地域別売上高

(単位:百万円)

	FY2024	FY2025	増減額	増減率
	第3四半期 累計実績	第3四半期 累計実績		
海外医薬品事業売上高	1,551	1,116	△434	△28.0%
中国	541	435	△105	△19.5%
香港	748	422	△326	△43.6%
台湾	193	166	△26	△13.9%
その他対象エリア ※	67	92	+24	+36.3%

※ 米国、カナダ、タイ、マレーシア、モンゴル等

SEIROGAN®

正露丸



セイロガン糖衣A



- JSA規格適合製品の出荷開始により、売上高は安定した水準を維持
- 秋冬の需要期に向け大手ドラッグストアなどへの配荷は順調に進んでおり、今後店頭施策やマーケティング施策に取り組む計画

対象顧客別売上高

(単位:百万円)

		FY2024	FY2025	増減額	増減率
		第3四半期 累計実績	第3四半期 累計実績		
感染管理事業売上高		383	390	+6	+1.7%
国内一般用		337	323	△14	△4.2%
国内業務用		135	128	△7	△5.2%
海外		23	27	+4	+17.4%
返品・値引・協賛等		△113	△89	+24	-

クレベリン





3. 通期業績予想の修正

通期業績予想について

- 第3四半期までの業績と今後の見通しを踏まえ、業績予想を上方修正
- 売上高は概ね計画通り推移する見込みだが、製造原価や販管費は当初予想を下回り、為替影響も改善する見込みであり、各段階利益が向上

(単位:百万円)

	FY2025 前回予想	FY2025 修正予想	増減額	増減率	(参考) FY2024 実績
売上高	6,300	6,300	-	-	6,292
営業利益	215	300	+85	+39.5%	629
経常利益	200	300	+100	+50.0%	688
当期純利益	450	580	+130	+28.9%	898



大幸薬品

将来情報に関する注意事項

当資料に記載されている将来情報は、種々の前提に基づくものであり、
将来の計画数値や施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません